

○議案第11号 委員長報告・
質疑・討論・採決

9月定例会の議案と議決結果		付託委員会	結果	市民クラブ										公明党		とみの風		無党派				賛成	反対
総務＝総務建設常任委員会 文教＝文教厚生常任委員会 決算＝決算審査特別委員会 全＝賛成全員 多＝賛成多数 否＝賛成少数 継＝閉会中の継続審査 ○＝賛成 ×＝反対 退＝退席 欠＝欠席 【継】＝前定例会以前からの継続案件 ※櫻井優好議員は議長のため採決に加わっていません。				相川光規	野並慶光	岡野耕平	田口勝一	戸村喜一郎	鈴木英吉	高橋益枝	猪狩一郎	栗原恒治	大川原きみ子	布川好夫	江原利勝	高橋祐子	窪田優	井上康	中間幸一	櫻井優好	柏崎のり子		
議案番号	件名																						
市長提出議案																							
承認第 1 号	専決処分の承認を求めることについて	－	全	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	16	0
同意第 1 号	監査委員の選任につき同意を求めることについて	－	全	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	16	0
諮問第 1 号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	－	全	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	16	0
議案第 1 号	富里市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について	総務	多	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	×	15	2
議案第 2 号	富里市個人情報保護条例の全部を改正する条例の制定について	総務	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	×	16	1
議案第 3 号	富里市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	総務	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	×	16	1
議案第 4 号	富里市児童遊園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	文教	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	17	0
議案第 5 号	富里市道路線の変更について	総務	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	17	0
議案第 6 号	平成 2 6 年度富里市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	総務	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	17	0
議案第 7 号	平成 2 7 年度富里市一般会計補正予算（第 2 号）	総務 文教	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	×	16	1
議案第 8 号	平成 2 7 年度富里市国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）	文教	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	17	0
議案第 9 号	平成 2 7 年度富里市下水道事業特別会計補正予算（第 1 号）	総務	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	17	0
議案第 10 号	平成 2 7 年度富里市介護保険特別会計補正予算（第 2 号）	文教	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	17	0
議案第 11 号	富里市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について	総務	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	17	0
認定第 1 号	平成 2 6 年度富里市各会計歳入歳出決算の認定について	決算	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	×	16	1
委員会提出議案																							
委員会提出 議案第 1 号	富里市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	－	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	17	0
委員会提出 議案第 2 号	国における平成 2 8（2016）年度教育予算拡充に関する意見書	－	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	17	0
委員会提出 議案第 3 号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書	－	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	－	○	15	2
請願																							
請願第 1 号	「国における平成 2 8（2016）年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願	文教	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	17	0
請願第 2 号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願	文教	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	－	○	15	2

議案の内容

9月定例会

承認 1	市長の給与減額の期間が平成 27 年 8 月 24 日で満了となり、期間を延長させるため、条例の一部改正の専決処分を行った承認を求めるもの	議案 7	歳入歳出それぞれ 6 億 3,709 万 9,000 円を追加し、総額を 164 億 8,319 万 5,000 円とするもの
同意 1	監査委員の川名部正一氏が平成 27 年 9 月 30 日で任期満了となるため、再度同氏を選任するに当たり、同意を求めるもの	議案 8	歳入歳出それぞれ 2 億 6,629 万 1,000 円を追加し、総額を 74 億 9,749 万 7,000 円とするもの
諮問 1	人権擁護委員の佐藤 満氏が平成 27 年 12 月 31 日をもって任期満了となるため、法務大臣に対し再度同氏を候補者として推薦するに当たり、議会の意見を求めるもの	議案 9	歳入歳出それぞれ 1,303 万 9,000 円を追加し、総額を 8 億 4,075 万 6,000 円とするもの
議案 1	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（以下「番号法」という）の公布により、個人番号の利活用について新たに条例を制定するもの	議案 10	歳入歳出それぞれ 1 億 4,716 万 5,000 円を追加し、総額を 26 億 2,518 万 7,000 円とするもの
議案 2	番号法の規定により、市が保有する特定個人情報の取扱い等について必要な措置を講じるとともに、あわせて個人情報保護制度の充実を図るため、所要の改正を行うもの	議案 11	子ども・子育て支援事業計画に基づき、葉山公園の位置の変更を都市計画決定したことにより、条例を改正するもの
議案 3	番号法及び同法律の施行期日を定める政令の公布により、通知カード及び個人番号カードの紛失等による再交付に備え、所要の改正を行うもの	認定 1	平成 26 年度一般会計及び国民健康保険特別会計など 5 特別会計並びに水道事業会計の歳入歳出決算について、議会の認定を求めるもの
議案 4	市道 01－006 号線（クリーンセンター前道路）道路拡幅工事に伴う七栄第三児童遊園用地の減少及び今後の管理方法の見直しにより、当該児童遊園の用途廃止等、所要の改正を行うもの	委員会提出 1	近年の男女共同参画の状況に鑑み、出産による会議の欠席を新たに追加し、あわせて所要の改正を行うもの
議案 5	市道 4－0182 号線（根木名小学校前歩道橋）について路線の延長と終点の変更をするもの	委員会提出 2	国に対し、必要な教育予算を確保することを強く要望する意見書を提出するもの
議案 6	平成 26 年富里市水道事業会計未処分利益剰余金を資本金への組み入れ及び減債積立金へ積み立てることについて議会の議決を求めるもの	委員会提出 3	国に対し、義務教育費国庫負担制度を堅持するよう強く求める意見書を提出するもの

意見書を提出

- ◆国における平成 28（2016）年度教育予算拡充に関する意見書
 （提出先）内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣
- ◆義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書
 （提出先）内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣

平成 26 年度富里市各会計歳入歳出決算審査報告

委員長 井上 康

決算審査特別委員会に付託されました、平成 26 年度富里市各会計歳入歳出決算について、委員会審査の経過並びに結果を御報告申し上げます。

平成 26 年度の一般会計及び国民健康保険特別会計などの特別会計の決算総額は、歳入が 267 億 1,466 万 8,736 円、歳出は 253 億 1,361 万 5,824 円となっており、実質収支は 13 億 6,850 万 5,491 円の黒字、本年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いた、単年度収支は、6,633 万 3,389 円の黒字となっている。

次に、地方公共団体の財政状況の分析に用いる、普通会計における財務分析の数値で前年度と比較すると、財政力指数については 0.76 で、前年度と同ポイントであり、経常収支比率については 88.6％と前年度と比較して 1.0 ポイント減少したが、依然として財政構造の硬直化の傾向が見られる。

また、実質公債費比率は 3.3％で 0.3 ポイント減少しているものの、地方債現在高は 158 億 5,411 万 9,000 円で、前年度と比較すると 17 億 7,880 万 4,000 円の増加となっている。

一般会計の歳入の根幹をなす市税の徴収率は 85.12％で、前年度と比較すると 1.67 ポイント上昇し、市税収入済額は 1 億 4,589 万 9,137 円の増加となっている。

水道事業会計決算における経営状況は、水道事業収益は、前年度と比較して 2.18％減少し、水道事業費用は 3.30％増加したため、当年度純利益は、前年度と比較し 38.84％減少し、8,160 万 656 円となった。

このような状況を踏まえた上で、本決算審査特別委員会は、9 月 14 日から 17 日までの 4 日間にわたり、3 階第 3 会議室において、市長、副市長、教育長及び関係部課長等の出席を求め、慎重に審査いたしました。

審査の過程においては、活発な議論を経て、適正で効率的な予算の執行について当局の見解をたしました。

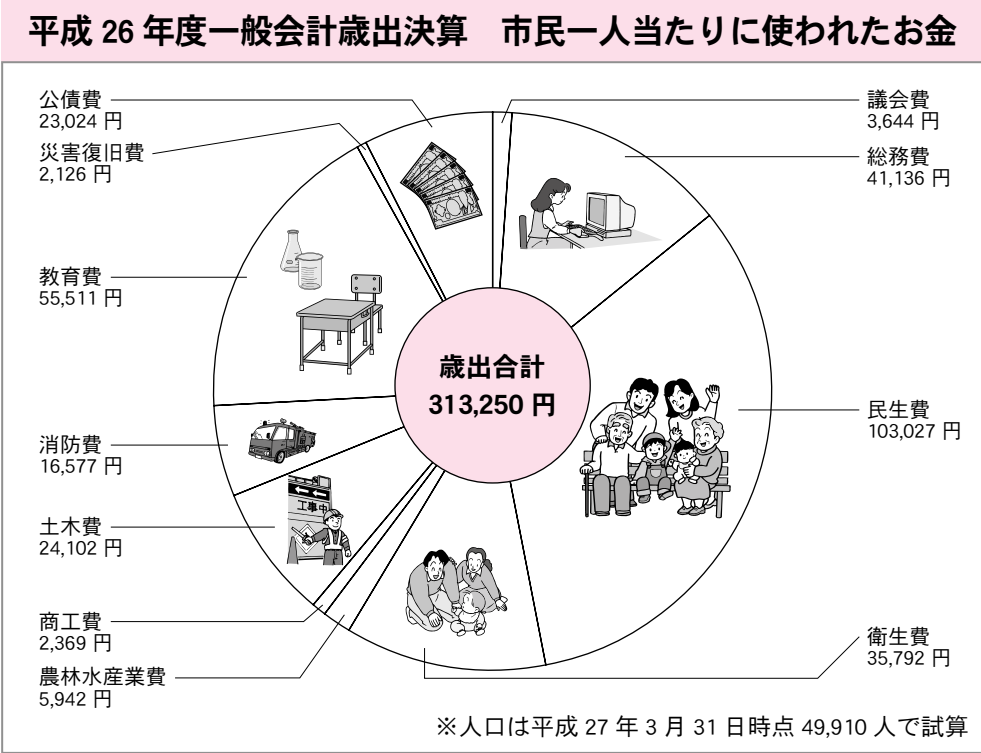
審査の結果、監査委員の意見書のとおり、各会計とも計数については誤りのないものと認められました。

今後の予算の執行に際しては、「最少の経費で最大の効果を上げるよう」より一層の検討を加え、これまで以上に効果的・効率的な市政運営に努め、市民の期待にこたえるための予算執行となるよう、特に次の事項について適切な措置を期待し、報告いたします。

- 1 市税の収納について、各種納付方法を P R するなど、今後とも徴収努力をすること。
- 2 職員研修について、ボランティア研修の機会や長期研修の充実に努めること。
- 3 市ホームページについて、より利用しやすいものとなるよう、リニューアル等検討すること。

- 4 救急救命士について、今後も人員を確保するよう努めること。
- 5 教育センター事業の心理相談員について、子供たちが相談しやすいように、人員の充実に努めること。
- 6 地域包括ケアシステム構築のために、ケアマネジャーの質の向上に努めること。
- 7 緊急通報装置設置事業について、高齢者の安心に向けた対策と利用条件の緩和について検討すること。
- 8 シルバークラブについて、クラブ活動の支援など会員がふえるよう努めること。
- 9 自主防災組織について、地域からの組織立ち上げなど支援するよう努めること。
- 10 地域づくり協議会モデル事業補助金について、協働のまちづくりの一環として、継続して事業を推進するよう努めること。
- 11 新規就農者等への支援策について、多くの農家が利用できるように広く周知すること。
- 12 市の公共工事について、関係各課と連携し経費の削減に努めること。
- 13 木造住宅耐震補助事業について、補助率を変えるなど、より利用しやすい制度となるよう検討すること。

以上のとおり要望を付し、認定第 1 号平成 26 年度富里市各会計歳入歳出決算の認定については、採決の結果、賛成全員にて、原案のとおり認定すべきものと決定しました。



決算審査特別委員会を設置

委員長 井上 康

委員 窪田 優

副委員長 戸村 喜一郎

相川 光規、野並 慶光、中間 幸一、大川 原さき子、江原 利勝、栗原 恒治

子どもを産み、育てやすい環境整備が進みます

(仮称) こども館施設計画イメージ図 (葉山地区)

総工事費 2億 5,725 万 5,520 円

↑
国道 296 号

既存葉山保育園

園庭

保育園
駐車場

←市役所

(仮称) こども館

玄関

公園

こども館
駐車場

八街三里塚線→

常任委員会の 審査から

総務建設常任委員会

総務建設常任委員会は、付託された議案8件について審査を行いました。主な議案について御報告いたします。

議案第1号、富里市個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の制定について、番号法の規定事務以外の現在行っている本市独自利用3事務を条例で制定するものであるが、今後の改正見込みについては必要に応じて行うとのことでした。

議案第2号、富里市個人情報保護条例の全部を改正する条例の制定について、本市の情報セキュリティ体制に対する疑義に、機密保持のための基本方針を定め、適宜庁内へ通知を出すことにより個人情報管理徹底を図るとの説明を受けました。

議案第3号、富里市手数料条例の一部を改正する条例の制定について、個人番号カードの再発行手数料800円の積算根拠は総務省事務連絡によるものということでした。

議案第5号、富里市道路線の変更について、その経緯について、今年度予定している根本名小学校前の歩道橋改修工事に当たり補助金交付を受ける際、歩道橋そのものを市道認定せよとの指示があり、追加認定するに至ったとの説明を受けました。

議案第7号、平成27年度富里市一般会計補正予算（第2号）について、歳入については、地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金2597万7000円を増額し、各事業に取り組むとのこと。歳出については、個人番号カード関連事業に係る臨時職員2名の指導は市民課職員全員の研修とともに十分に指導していくとのこと。産業振興基本条例制定に関する懇話会出席者報奨金15万2000円の増額は、その人選について農協・商工会等の各団体に依頼し、本

市からの要請として女性割合3割を目標とし、若年層の登用もあわせてお願いしているとの説明がありました。

慎重に審査した結果、付託された全ての議案は、可決しました。

（委員長 戸村 喜一郎）

文教厚生常任委員会

文教厚生常任委員会は、付託された議案4件について審査を行いました。主な議案について御報告いたします。

議案第4号、富里市児童遊園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について、七栄第三児童遊園について、道路線の拡幅工事に伴う用地の減少や利用

状況を勘案し廃止することだが、周辺地区の世帯数はふえていると思われるが、廃止しなければならないのか、この質疑があり、廃止に当たっては、地域自治会、地域のアパート等の住民の方々に相談させていただいた。利用している子供たちがいないことは地域でも認識しており、了承をいただいた。廃止後は、地域が独自に持っている公園の案内をさせていただきながら、新しく整備を予定しているこども館など、利用できる場所を周知していきたいとの説明でした。

議案第7号、平成27年度富里市一般会計補正予算（第2号）について、（仮称）向台こども園建設工事の増額は、キュービクルや浄化槽などが当初の見込みにおいて漏れてしまったこと、園庭の現状から新たに雨水処理の計画が必要になったことや、関係部署・保育現場・地域の保護者の意見や要望を取り入れた計画変更があったことによるものとの説明でした。

慎重に審査した結果、付託された全ての議案は、可決しました。

（委員長 田口 勝一）

一般質問

質の
は自身
文による
本者
※問
原稿の
ものです。

通告項目（代表）

市民クラブ
(1)市長の政治姿勢について
(2)富里市の人口ビジョンについて

公明党

(1)4年間の実績について
(2)市政運営方針について
(3)教育問題について
(4)投票率の向上について

通告項目（個人）

大川原きみ子
(1)健康と福祉について
(2)高齢者福祉について
(3)教育施策について
(4)女性活躍推進法案について

高橋 祐子

(1)スイカロードレースについて
(2)産業振興について
(3)REASASについて
(4)東京オリンピック・パラリンピックについて

田口勝一

(1)市道5・0059号線の拡幅について
(2)南部畑地帯の排水対策について
(3)南七栄南西市有地の利用方法について
(4)旧岩崎家末廣別邸の公園整備計画について

窪田 優

(1)市長選挙結果、投票率と得票数について
(2)公約について

相川光規

(1)富里市ジョイント・スクール構想の取り組みについて
(2)本市の環境施策について

井上 康

(1)富里市ふるさと応援寄附金の活用について
(2)旧岩崎家末廣別邸の整備について
(3)子育て支援について

柏崎のり子

(1)子ども・子育て支援について
(2)介護保険について
(3)労働安全衛生法について

市民クラブ

猪狩 一郎

問 高齢者福祉について



答 積極的に取り組んでいきます

問 高齢者福祉をどう進めるか。

答 現在、市では「在宅推進会議」を立ち上げ、医療と介護の連携シートを提案するなど、在宅で生活する高齢者を支える仕組みづくりに取り組んでいます。

こうした動きは、昨年改正された介護保険法により平成29年4月を期限に移行しなければならぬ「新しい総合事業」と強く連動していくものです。

高齢者が元気に住みなれた地域で生活し続けられるために必要となる介護予防活動の機会や場所を地域に創設し、介護保険制度の安定的な運用を確保していくことを一つの目的とした取り組みであり今後の市の高齢者施策の根幹をなすものであると認識しています。

市では「ささえ愛プラン」に基づき中学校区を一つのエリアとする三つの圏域それぞれに、地域包括支援センターを早期に設置していく予定でございます。

『子育て支援について』

問 子育て支援をどう充実させるか。

答 現在、進めています子育て支援センター、一時保育事業、放課後学童クラブを複合的に兼ね備えた（仮称）こども館の建設、保育と幼児期の教育、子育て支援センターをあわせ持つ（仮称）認定こども園の整備、子ども・子育て環境整備事業による葉山保育園の拡充により、地域の子育て支援の充実を図るとともに、待機児童ゼロを目指してまいります。安心して子供を育てられる仕組みをつくり、地域全体で子育てを応援していく社会の実現に向けて、着実に進めてまいります。

公明党

江原利勝

問 4年間の実績で英語教育推進の成果は



答 英語を話せるという公約は失敗でした

『市政運営方針・公約について』

問 待機児童ゼロはできますか。

答 葉山保育園の受け入れ人数拡大、こども館の新設、向台幼稚園を認定こども園とし、待機児童ゼロを目指します。

問 独身青年男女の出会いの場づくりとは。

答 常に若者が話し合える場をつくりたいです。

問 自然災害に強く負けない支援策とは。水事業で高い加入金とそれ以上の売上げを推進できますか。

答 基盤整備を推進し、収入を上げ、農業に希望の持てるよう努力します。

問 道の駅建設で多くの人を呼ぶ施策とは。

答 まず、どこにつくるか調査研究します。

問 オリンピック、キャンプ地の誘致にて富里市の魅力を発信できませんか。

答 積極的に動いていません。

問 南部地域は道路の傷んだ箇所が非常に多く、特に、南小地先は大型車が往來し歩道がなく危険です。市長の決断は。

答 今後の整備箇所と認識しています。

『投票率の向上について』

問 来年の参院選から18歳選挙権が適用になり、政治との距離を縮めるため、子ども議会の定期開催の考えは。

答 非常に良いことで、ぜひ協力します。



近付南小の待たれる幅員拡張



赤ちゃん駅
(つくばみらい市 子育て支援センター)

大川原きみ子 **問** 子育て支援「赤ちゃん駅」設置について



答 設置できるよう検討してまいります

問 赤ちゃん駅は乳幼児を持つ子育て家庭が安心して外出できるよう、おむつがえや授乳スペースをパーテーションなどで仕切り、プライバシーが守れるように「赤ちゃん駅」の愛称で設置することです。すでに設置している他の自治体では大変に喜ばれています。設置について伺います。

答 本年度完成予定の新保健センターにはおむつがえや授乳できるスペースを設置しますが、今後調査、研究を行ってまいります。

問 運動会や各種市イベントや子育てサークルなどでも人目を気にすることなくおむつがえ、授乳ができる移動式型の「赤ちゃん駅」として貸し出しをする取り組みについてもあわせて伺います。

答 予算等がありますが設置できるような方向で検討してまいります。

『健康ポイント制度について』

問 健康づくりを行う市民に「健康ポイント」制度で健康寿命を延ばしたいききと暮らせる取り組みについて伺います。

答 「にんじんウォーク」をすでに実施しております。厚生労働省も制度の実施を来年度中にと示しているので事業の拡大等指針を踏まえ検討してまいります。

高橋祐子 **問** 第三工業団地について市長の考えは



答 できれば南部に。場所は早く決めたいです

問 昨年9月議会では、第三工業団地の整備は非常に難しい、考えられないとの市長答弁だったが、一転、積極的に方向転換したのはどのような認識の変化か。

答 100%埋まったことと、雇用創出の点から富里市が持続可能なためには必要と考えました。南部地域の衰退を防ぐためにも、できれば南部にとの思いです。法律の壁もあり、もう少し研究をし、場所については決めたいと思います。

『REASAS（リーサス）について』

問 REASAS「地域経済分析システム」は地方創生の武器、活用できない市は発展できないとも言われている。政策的にしっかり活用すべきだがお考えは。

答 施策検討など活用してまいります。

『東京オリンピック・パラリンピックについて』

問 国が推進している「ホストシティ・タウン構想」は登録自治体が出場選手たちとの交流事業などソフト事業に財政支援を行うもの。富里は馬のまち、ぜひ馬術に手を挙げて、地域活性化や観光資源へとつなげていくべきと考えます。聖火リレーについて、今度は市内でのリレーを実現させていただきたいが、見解は。

答 富里にコースが通るようにぜひ要望したいと思っています。

『スイカロードレースについて』

問 経済波及効果を試算したが精度が低いから公表できないとのことだが、大会のPR、シティーセールスの一環として発表すべき。いつまでに公表するのか。

答 もう少し時間をいただきたいです。

田口勝一 **問** 南部畑地帯の湛水被害の早期解決を



答 県に対して排水整備を強く要望してまいります

『市道5-0059号線の拡幅について』
問 この路線は道路用地も確保されているので、まず南小学校前の交差点から野球場入り口までを歩道整備できないか。

答 用地が確保されていることから、今後の整備対象路線になっているので、他の路線を含めた中で検討してまいります。

『南部畑地帯の排水対策について』

問 湛水被害の出る地帯では、なるべく早い排水工事の着工を望んでいる。精力的な取り組みで、県営畑地帯総合整備事業を進めてもらいたいと思うが。

答 事業主体の千葉県へは、引き続き被害の軽減を図れるよう、排水の整備を強く要望してまいります。

『南七栄南西市有地の利用方法について』

問 リサイクルセンター建設予定地の検討結果とその費用はどのくらいを見込んでいるか。

答 附帯施設用地を含め、約4ヘクタール、費用は概算で建物を含め約15億円を見込んでいます。

問 残りの市有地の利用は、市の財政負担の軽減を考えると、民間への売却も含めて検討すべきと思うが、どう考えるか。

答 民間活力の活用も含めて、さまざまな手法についても考えてまいります。

『旧岩崎家末廣別邸の公園整備について』

問 整備計画の進捗状況は。

答 今年度は、建物の修復、活用に必要な構造的調査や、敷地の公園化に向けた地形測量などを実施しています。次年度以降、公園基本設計に着手したいと考えています。

窪田 優 **問** ジョイント・スクールで何が期待できますか



答 不登校等「中一ギャップ」の解消を期待できます

問 先生にとっては何が期待できますか。

答 今まで十分な交流がなかったが先生方の交流が図られる中で義務教育9年間でしっかり交流が図られるものと思います。

『エアコンの設置の見通し』

問 エアコンの設置の見通しはどうか。

答 子供は富里の宝です。教育環境のさらなる充実策の一つとしてエアコンの設置は必要と考えています。

『次年度予算の検討に入っていますか。』

答 エアコン設置の際、附帯して行えば総合的な経費の節減につながるので大規模改修のリストをつくりまます。エアコンのトータル数字から全体のつかみ予算は概略が見えてきているので今後、財政当局との協議をスケジュール化していきたいです。

『協働に不可欠な人の協力和活用』

問 市民の社会参加活動者が多いところは選挙の投票率が高いと言われています。

私見ですが、富里市の各種委員会や協議会は、公募のほか、農協、商工会、区長会、体育協会などから委員を推薦してもらって開催し、担当課主導で進めています。間違いはありませんが、茨城県行方市では最近立ち上げた「なめがた市民100人委員会」は住民基本台帳で無作為に選んだ3000人から応募により選定された方が「協働・共創の総合戦略」を策定する場として「まち・ひと・しごと創生ワーキングチーム」を立ち上げました。無作為抽出による選出について御検討ください。

答 無作為抽出はやっていませんでした。無作為に選ぶのも一つの案かなと思います。検討してみたいです。

相川光規 **問** 富里市ジョイント・スクール構想について



答 小中9年間で学びと成長の連続性を目指します

問 今後、継続していくのか。

答 2年目。今後も継続していきます。

問 児童生徒の交流の内容について、今年度の取り組み状況は。

答 中央学園は、旧岩崎家末廣別邸で施設説明を受け清掃活動。北学園は、教材を使った協同作業。南学園は、順天堂大学生を招聘してスポーツを通じた交流をしています。

問 その取り組みは不登校解消につながるのか。

答 協同作業することで小学校から中学校へのギャップを軽減することにつながると思います。

問 教育課程の接続を課題の一つとして挙げているが、どのように解決していくのか。

答 算数から数学・外国語から英語・今後導入される道徳の接続を円滑に図れるように配慮していきます。

問 教員の負担がふえるのでは。

答 新しい取り組みで負担はあるが、考慮しながら進めていきたいと考えています。

『本市の環境施策について』

問 環境施策について。環境学習の場として「里地里山」は、活用されているのか。

答 古代米づくりやホタル観賞に活用されているが、学習の場が不足しています。

問 市民団体等との協働の取り組みについて現在行っている協働の取り組みや今後の取り組みは。

答 民有地のためNPO法人など市民団体と連携して推進していきます。



井上 康

問 旧岩崎家末廣別邸の整備について

答 周辺景観との調和も考慮します

『ふるさと応援寄附金、活用の工夫は』
問 制度の見直しが行われ、より活用されやすくなり改善が進みました。さらに寄附したくなるような工夫が必要では。
答 より具体的な活用事業を例示し、民間事業者が運営するポータルサイトとの連携、寄附金のクレジット払いなど検討し取り組んでまいります。

『旧岩崎家末廣別邸脇の水路について』

問 別邸の保存活用基本構想ができました。敷地内の整備計画は良いのですが、敷地周辺の環境整備方針が決まっています。北東側の水路が崩壊し、景観を著しく悪くしていて、公開までに整備が必要です。市の方針は。

答 国や県から補助金を受けることが可能か検討し、可能であれば整備したいです。

『富里市中部地区の子育て支援の充実』

問 子ども・子育て支援制度が4月から新しくなり、就学前児童の受け入れ施設が充実される計画です。一方、小学校に入学後、留守家庭の児童が放課後過こせる場所等に課題があると考えます。

答 学童保育のニーズも高まっています。地域の実情を把握し進めていきます。

問 中部地区、特に富里小学校区に学童保育ニーズが高まっています。学童を新設する場合、実績と歴史のある民間施設と公設施設との共存共栄を保ちながら進めていくことが大事です。市の方針は。

答 現在の民間事業者さんが受け入れを増加していたことが最も早いのですが、無理であれば、学童設置を早急に検討します。



柏崎のり子

問 保育事業者の認可申請について

答 基準を満たしておらず認可できないと考えます

問 認可外保育施設から認可申請が1件あるとのこと。市条例の最低基準、保育環境、経営状況等について、子ども・子育て会議ではどのような御意見でしたか。

答 申請者は現在、認可外保育施設を運営しております。計画では0〜2歳児は小規模保育B型へ移行し、3〜5歳児は引き続き認可外事業を併設することから、保育面積が減少することや保育士の人数が不足するのではとの危険性を指摘されております。経営状況は、3年間の赤字が計上されており運営上問題視する意見が多く出ておりました。

問 小さな命を預かる仕事です。保育面積、保育士基準を満たして認可申請するのが事業者としてのあるべき姿と考えます。子供の最善の利益が優先されるべきであり、子ども・子育て会議の意見は尊重されるべきと考えますがいかがですか。市長の見解を御答弁ください。

答 聞いている範囲では申請は認可できないと考えます。

問 保育士確保に当たり、市独自の奨学金等の制度を考えていくべきではないか。

答 現在確保が困難な状況で派遣で対応しており市独自の検討が必要と考えます。

問 私立保育園における障害者手帳を持たない園児への加配分の補助について。

答 直接の補助ではなく県補助のうちの予備保育士設置費として、保育士定数を超えて配置される保育士の費用を補助することで保育園運営を助成しています。

議員研修

文教厚生常任委員会行政視察

期日：平成27年10月7日から9日までの3日間
 視察地及び視察事項：

- (1) 東京都稲城市
 介護支援ボランティア制度について
- (2) 滋賀県米原市
 地域お茶の間創造事業について
- (3) 京都府城陽市
 教育委員会改革について
- (4) 大阪府泉佐野市
 幼保一体化施策と泉大津市立認定こども園整備事業について

総務建設常任委員会行政視察

期日：平成27年10月21日から23日までの3日間
 視察地及び視察事項：

- (1) 宮城県大崎市
 シティプロモーションについて
- (2) 岩手県雫石町
 防災・減災の取り組みについて
- (3) 秋田県大仙市
 空き家等適正管理に関する条例について

平成27年度富里市議会議員研修会

期日：平成27年10月14日
 講師：鵜沼信二氏
 内容：地方議会・議員の役割と機能発揮のあり方

千葉県北総地区市議会正副議長会議員研修会

期日：平成27年10月16日
 講師：廣瀬克哉氏
 内容：議会の存在意義と政務活動費の意義

次回定例会の予定

平成27年

- 11月26日（木） 本会議（議案上程）
- 12月1日（火） 本会議（一般質問）
- 12月2日（水） 本会議（一般質問）
- 12月3日（木） 本会議（一般質問・議案質疑・委員会付託）
- 12月4日（金） 予備日

- 12月7日（月） 文教厚生常任委員会
- 12月8日（火） 総務建設常任委員会
- 12月16日（水） 本会議（委員長報告・質疑・討論・採決）

※日程、内容は予定であり、変更となる場合があります。
 詳細な日程は開会1週間前に決定しますので、市ホームページでご確認いただくか、議会事務局にお問い合わせください。

議会を傍聴しませんか

12月定例会は11月26日（木）から開会予定です。

※議場は市役所本庁舎3階です。
 ※本会議の様子は市民課ロビー（市役所本庁舎1階）のテレビや日吉台出張所のモニター、インターネット（ライブ・録画）でもごらんいただくことができます。
 ※本会議の録画映像は、当該本会議の会議録が作成されるまでの間（おおむね2カ月）、市議会ホームページに掲載しています。

ご意見・ご感想をお寄せください！

議会報を読んで感じたことなど、皆様の御意見をお待ちしております。
 また、議会報は市議会ホームページでもごらんいただくことができます。

〒286-0292 富里市七栄652-1 議会事務局
 TEL. 0476-93-6492 FAX. 0476-91-3595

富里市議会ホームページアドレス
<http://www.city.tomisato.lg.jp/category/2-3-0-0-0.html>

編集後記

東日本を襲った記録的な大雨は各地に大きな被害をもたらしました。とりわけ鬼怒川が決壊した茨城県常総市の被害は甚大で、住宅が濁流に流され、市街地が広範囲にわたって水没し、多くの住民の日常生活が奪われました。犠牲になられた方々の御冥福を祈り、被災者へのお見舞いと一刻も早い生活再建を祈ってやみません。

こうしたニュースを聞く時、富里音頭の「山という山はなけれど、河という河もない」という一節を思い出します。富里の穏やかな地形をあらわした一番の詩です。こうしたことから、幸いにも富里は大きな自然災害がない住みやすいまちと言われる所以だと思います。

しかし、地震や台風、いつどんな事態が起きるかわかりません。「備えあれば憂いなし」と言いますが、「憂いなければ備えなし」では困ります。自治体は常に危機感を持って、日頃の備えをしっかりと再点検することが不可欠だと改めて思いました。

（副委員長 高橋 祐子記）